

釧路町における ゼロカーボンの取組

2026.8.24(月)
釧路町環境生活課

2018（平成30）年 胆振東部地震発災（道内全域ブラックアウト 町内最長3日間停電）

2019
(R1)

- ✓「釧路町の防災と減災と自然環境の賢明なる利用を同時実現できる事業」に関する
事業実施協定をスマートソーラー株式会社と締結

ゼロカーボンシティ宣言

2021
(R3)

- ✓PPAにより釧路町役場屋上へ太陽光パネル（出力81kW）及び蓄電池（容量159 kWh）を設置

事務事業編改定（組織改編：環境生活課を新設）

2022
(R4)

- ✓PPAにより釧路町役場駐車場にソーラーカーポート（出力177kW）を設置
✓公用車としてEV（容量60 kWh）を1台導入、急速充電器（出力50kW）を設置

ゾーニングマップ作成、区域施策編策定

2023
(R5)

- ✓PPAにより総合体育館、温水プール、富原小学校、富原中学校、給食センターのマイクログリッドを構築
(R5) 釧路町運動公園駐車場に太陽光パネル（出力642kW）設置工事、
(R6) 自営線（L = 500m）・蓄電池（1 MWh）設置となりR7.8から稼働

2024
(R6)

道庁GX派遣職員帰庁、新たに環境省北海道環境局派遣

予算編成と連動した釧路町脱炭素方針、釧路町版グリーン成長戦略、未来デザイン会議の創設など

R7.8からマイクログリッド稼働（648kW・蓄電池1 MW）

事業実施協定書 第2条（本協定の目的）

本協定は、近年多発する様々な自然災害や、大規模停電の発生等から、町民の生活を守るため、町の防災計画に掲げる避難場所等の計画施設へ、大規模電池付太陽光発電設備の導入を行い、災害時の電力ライフラインを確保するとともに、自然災害の原因ともなっている温室効果ガスの排出量の削減を同時実現することを目的として、町と事業者が締結するものである。



町民の生活を守ることが最大の目的
(温室効果ガスの削減は副次的)

北海道釧路町の公用車の現状

- 公用車 54 台
- 特殊車両除く一般車両 34 台
- うち、EV 7 台、PHEV 3 台

【EV】



【PHEV】



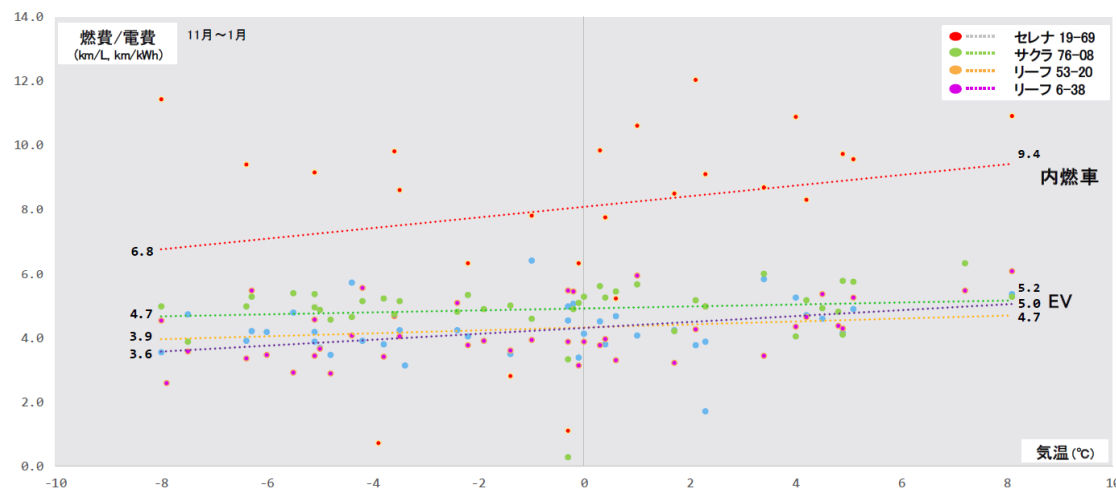
車載デバイスによる走行データの取得・分析

安全・燃費・電費分析 EV運用分析 稼働・EV導入分析

外気温と燃費・電費の相関

eMotionFleet

外気温の低下に比例し電費は低下しているが、内燃車と同等程度の変化



CONFIDENTIAL | NOT FOR DISTRIBUTION

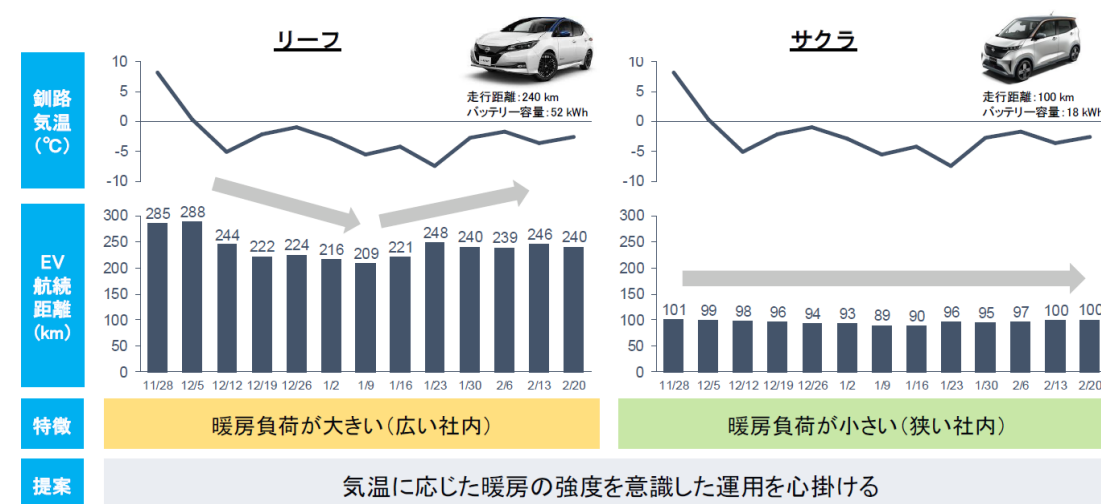
10

安全・燃費・電費分析 EV運用分析 稼働・EV導入分析

外気温とEV航続距離の相関

eMotionFleet

暖房負荷により、低気温でも航続距離は維持できる



CONFIDENTIAL | NOT FOR DISTRIBUTION

11

※eMotion Fleet株式会社様 作成・提供資料

現在もEVについて年間を通じた走行データを取得中

防災としての活用

【EV外部給電】



【PHEV外部給電】



【給電実証実験】

令和6年度 釧路町防災運動会にて
自動販売機への給電実験



職員訓練／車載マニュアル／初動体制／平時活用